

未来を開く

長井市立長井北中学校 No17 令和6年7月23日

躍動した北中生！ 県中総体の結果です

「Together ～出会えた奇跡 努力の軌跡～」のスローガンの下、県内各地で第64回山形県中学校総合体育大会が開催されました。

西置賜地区の代表として出場した北中の選手達は、中学生らしく、爽やかに、最後まであきらめず、全力で競技してきました。勝負ごとですから、結果はつきものです。思うように力を発揮し、満足のいく結果を得られた人、悔いの残る結果だった人、様々だと思います。上位大会を経験できたことは、これからの競技そして人生の財産になります。自身の誇りにし、胸をはって、次の目標に向かってほしいと思います。

大会結果を掲載しました。ソフトテニス男子団体の3位入賞、卓球女子団体の3位入賞、ソフトテニス女子個人で藤守千成さん(2年)鈴木友彩さん(2年)ペアの3位入賞並びに東北大会出場、卓球女子個人で東海枝茉希さん(1年)の3位入賞並びに東北大会出場、大変おめでとうございます。



令和6年度 山形県中学校総合体育大会結果

7/19(金)、20(土)、21(日)

長井市立長井北中学校

団体の部

第3位 男子ソフトテニス	1回戦	2-1	対 上山北中	勝利
	2回戦	2-1	対 河北中	勝利
	決定戦1回戦	0-2	対 BLACK ROI	惜敗
	敗者戦	2-1	対 酒田三中	勝利
※直接対決の結果により、BLACK ROI が第二代表に				
第3位 女子卓球	1回戦	3-1	対 山形九中	勝利
	2回戦	3-1	対 天童三中	勝利
	準決勝	1-3	対 河北中	惜敗
	代表決定戦	0-3	対 日新中	惜敗
ソフトボール (長井北・白鷹)	1回戦	3-13	対 沖郷・宮内中	惜敗
(4回コールド)				
女子バレーボール	1回戦	0-2	対 余目中	惜敗
女子ソフトテニス	1回戦	1-2	対 中山中	惜敗
男子卓球	1回戦	0-3	対 天童二中	惜敗

個人の部

◇男子ソフトテニス	沼澤 龍暉 (3年)・井上 粋 (1年)	3回戦惜敗
	沼澤 龍誠 (1年)・木村 碧月 (1年)	2回戦惜敗
◇女子ソフトテニス	藤守 千成 (2年)・鈴木 友彩 (2年)	第3位 東北大会出場
	平塚 咲帆 (2年)・佐藤 柑奈 (2年)	2回戦惜敗
◇男子卓球	児玉 隼人 (3年)	2回戦惜敗
	鈴木 晴翔 (3年)	1回戦惜敗
◇女子卓球	東海枝茉希 (1年)	第3位 東北大会出場
	川上 琉月 (3年)	4回戦惜敗
	飯澤 茉央 (3年)	3回戦惜敗
	沼澤 綺那 (3年)	2回戦惜敗
◇陸上(男子・女子)	小林 蒼真 (2年) 四種競技	入賞ならず
	三瓶 里紗 (3年) 四種競技	入賞ならず

◇バドミントン	大道寺 覇人 (2年) 寺嶋 雅空 (1年)・長沼 結音 (1年) 菅原 穂花 (1年)	1回戦惜敗 1回戦惜敗 2回戦惜敗
◇水泳男子	勝見 璃人 (2年) 200m 自、100m 自 村上 慶 (2年) 200m 背、100m 背 高橋 一平 (1年) 50m 自、100m 自	予選惜敗 予選惜敗 予選惜敗
◇男子剣道 (団体)	※小桜	予選リーグ惜敗
◇女子剣道 (団体)	※小桜	予選リーグ惜敗
	(個人) 山口 莉奈 (2年) ※小桜	1回戦惜敗
◇ソフトボール	※長井レッドウィングス	1回戦 1-2 対 山形十中 惜敗

北中吹奏楽部 「優秀」獲得！ 県コンクール出場へ！

7月20日(土)に、長井市民文化会館で行われた置賜地区吹奏楽連盟定期演奏会 兼 山形県吹奏楽コンクール置賜地区予選において、北中吹奏楽部は中学生小編成の部において、「優秀」を獲得し、8月4日(日)に行われる山形県吹奏楽コンクールへの出場権を得ることができました。おめでとうございます。

残された約10日間の中で、さらに磨きをかけ、最高の北中サウンドをやまぎん県民ホールに響かせてほしいと思います。

各種大会の結果 おめでとうございます

【宇津木妙子杯松下カップ争奪ソフトボール選手権大会】

第2位 長井北中・白鷹中合同チーム

“明るいやまがた”

夏の安全県民運動実施中

本格的な夏の到来とともに、全国的には小中学生の悲しい水難事故を耳にするようになりました。自分自身の意識、周囲の目を通して、事故を減らせればと思います。

山形県では7月22日(月)～8月21日(水)の1か月間、「“明るいやまがた”夏の安全県民運動」を実施しています。運動の重点は、

- ◎青少年の健全育成といじめ・非行及び犯罪被害防止
- ◎子どもと高齢者の交通事故防止・飲酒運転の撲滅
- ◎海・山・川での事故防止
- ◎身近な犯罪等の防止

です。

目的は、この時期は上記のようなことが多くなる傾向にあるため、県民総ぐるみの運動を推進し、“安全で明るいやまがた”を創ることです。学校でも指導しますが、ご家庭や地域でも話題にいただき、子供達を見守り、必要によっては声をかけていただくなどしていただければと思います。運動の要綱に、家庭における推進事項が載っておりましてので、紹介します。



推進区分	推 進 事 項
家庭	1 親として子どもとの接し方を見直し、家族で楽しく会話ができるあたたかい親子関係のあり方を考えてみよう。
	2 親が率先して地域行事等に参加し、子どもが多くの人と交流できる機会をつくろう。
	3 子どもとともに、自然体験や社会体験などを通して多くの感動を共有しよう。
	4 早寝早起き朝ごはんを大切に家族みんなでより良い生活リズムをつくろう。
	5 家族のコミュニケーションの時間を増やし、子どもの小さな変化にも気を配り、いじめ・非行の早期発見・予防に努めよう。
	6 家族で話し合い、フィルタリングの設定をするなど家庭におけるルールを作り、インターネットやSNS等を安全に使えるようにしよう。
	7 外出や外泊時には、行先、目的、帰宅時間、一緒に行動する友達などを家族に知らせる習慣をつくろう。
	8 子どもの留守番中のルールを決めて、知らない人の訪問や知らない電話には出ないようにしよう。